

## データの一気通貫でものづくりが変わった

### サカモト・ダイテム株式会社

#### 穴加工に強い 3次元CAMを探し続け TOPsolidシリーズにたどり着く

プラスチック金型用のモールドベースやモールドプレート、各種金型部品を製造・販売するサカモト・ダイテム株式会社。モールドベースは標準モールドベースだけでなく、製品部を除く全ての加工を行った全加工モールドベースまでを提供する。これにより、短納期対応に迫られている金型メーカーは製品部の製作に特化すればよく、金型メーカーのよきパートナーとして業界で確固たる地位を築いてきた。最近では金型メーカーの短納期化を背景に、全加工モールドベースの依頼が増えているという。

同社では5年前の2002年、3次元CAMを初めて導入した。モールドベースの設計は2次元というのが主流の中、やがて3次元化が進むと予測していたことだった。

同社が3次元CAMに求めたのは、2軸穴あけ加工への対応だった。それは、同社では基本的に製品の形状加工を行わないため。だが、代表取締役の坂本幸浩氏は、「穴加工に強い3次元CAMが少なかった。」と当時を振り返る。

はじめて3次元CAMを導入した後も、同社は穴加工に強い3次元CAMを探し続けた。そんなとき、TOPsolidシリーズを活用している同社の取引先であるモルテック株式会社から「TOPsolidシリーズは3次元のCAD/CAMにも関わらず2次元に強い」という評価を聞き、2004年にTOPcamの導入を決意した。

3次元CAMは概して、穴あけ、2軸加工を得意としていない。しかしTOPsolidシリーズは3次元ながら2次元にも強く、TOPcamには穴あけ、2軸加工に十分対応できるという特長がある。まさにこの点こそが、同社がTOPsolidシリーズを導入した最大の理由に他ならない。

#### 3次元データの活用で受注から 納品までの大幅な納期短縮を実現

金型の設計・製造においても3次元化が進んできているが、ことモールドベースに限っては、まだ2次元が主流。仮にモールドベースまで3次元CADで設計しても、製造現場への加工指示用に3次元データを2次元図面に変換するなど、余計な手間と時間がかかっているのが現状である。

こうした金型メーカーの現状の中にあつて、同社はモルテック株式会社からの受

注は、TOPsolidシリーズのデータの授受だけで対応している。モルテック株式会社からは3次元の設計データのみ支給され、そのデータからCAMデータを作成しモールドベースを製造する。データの一気通貫を実現して2次元図面を不要にしたほか、品質を維持したまま受注～製造～納品までの大幅な納期短縮を実現した。

しかし、同社の取引先の中で、3次元データの授受だけでモールドベースを製造しているのは、まだ全体の1割にも満たない。同社とモルテック株式会社との取り組みは、そんな中で先進的なものだといえる。

#### 金型設計・製造の効率化には モールドベース設計の3次元化が不可欠

設計・製造の3次元化による効果として、坂本氏は形状の認識が視覚的にできることを挙げる。「2次元図面の場合、頭の中で形状をイメージしてから加工に入りますが、3次元データは画面を見れば形状が確認できるので、図面を理解する時間が大幅に減ります。」とその効果を強調する。

しかし、いまだに2次元図面による加工依頼が主流のため、設計・製造の3次元化による効率化はまだ十分ではない。坂本氏は「金型設計は2次元よりも3次元の方が楽で効率がいいというメリットがもっと浸透しないと、モールドベースまで3次元設計が進まないと思います。」と展望し、TOPsolidシリーズの今後のさらなる普及に期待している。

同社では今後も、金型メーカーの短納期対応に貢献できるように、短いリードタイムでのモールドベース製造に注力するという。その前提として、取引先でのモールドベース設計の3次元化があるが、同社の効率化は、設計から製造までのものづくり全般のプロセスを効率化するというTOPsolidシリーズのコンセプトの実現に他ならない。

最後に坂本氏は、「モルテック株式会社との間で成功したような事例を、多く積み上げていきたい」と意気込む。



工場内で稼働するマシニングセンタ

#### サカモト・ダイテム株式会社

<http://www.ditem.co.jp>

1956（昭和31）年に個人商店として発足、60年に株式会社坂本ハガネ商店として設立され、88年に現社名サカモト・ダイテム株式会社に変更した。

モールドベース、モールドプレート、金型部品のほか、プラスチック金型用鋼材やカセット金型も扱い、各種機械加工サービスも行う。営業所を目黒、福生（以上、東京都）、藤沢（神奈川県）、福島、大阪に持ち、福生と藤沢、福島には工場を擁している。本社 東京都。



代表取締役 坂本 幸浩氏



サカモト・ダイテム株式会社 福島工場外観

#### お問い合わせ

コダマコーポレーション株式会社  
<http://www.kodamacorp.co.jp>

〒224-0032 横浜市中区磯子区茅ヶ崎中央3-1  
センター南SKYビル4F

#### ■営業部

TEL 045-949-1331  
FAX 045-949-1515  
E-mail [sales@kodamacorp.co.jp](mailto:sales@kodamacorp.co.jp)

会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。  
記載内容は2007年5月当時のものです。